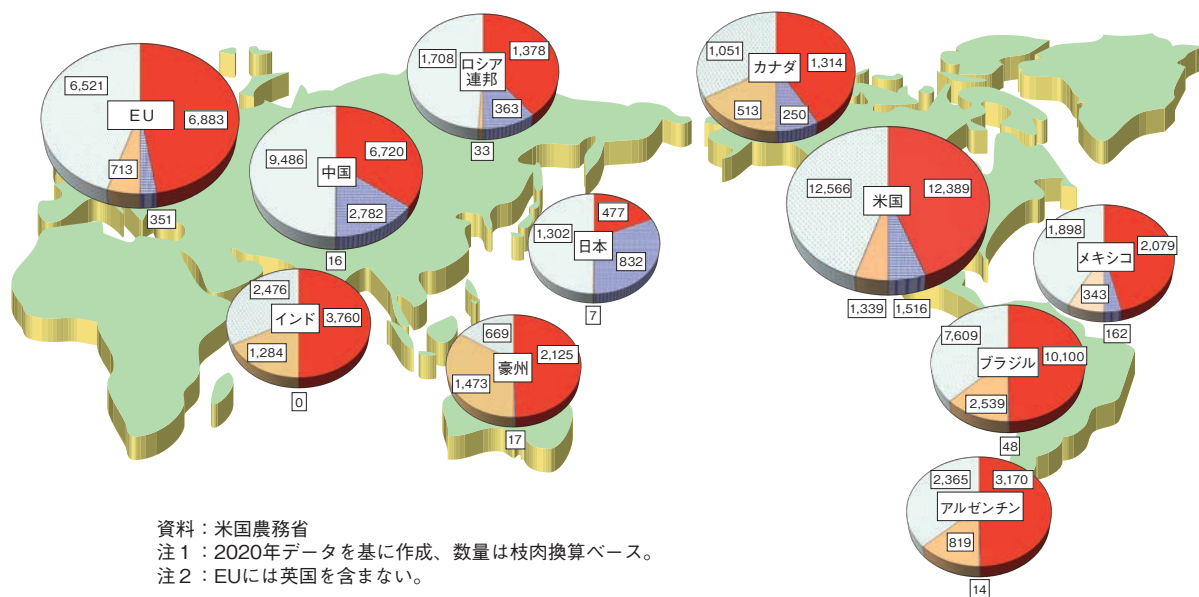


絵で見る世界の畜産物需給

牛 肉



消費量(千トン) 生産量(千トン)
輸出量(千トン) 輸入量(千トン)



資料：米国農務省

注1：2020年データを基に作成、数量は枝肉換算ベース。

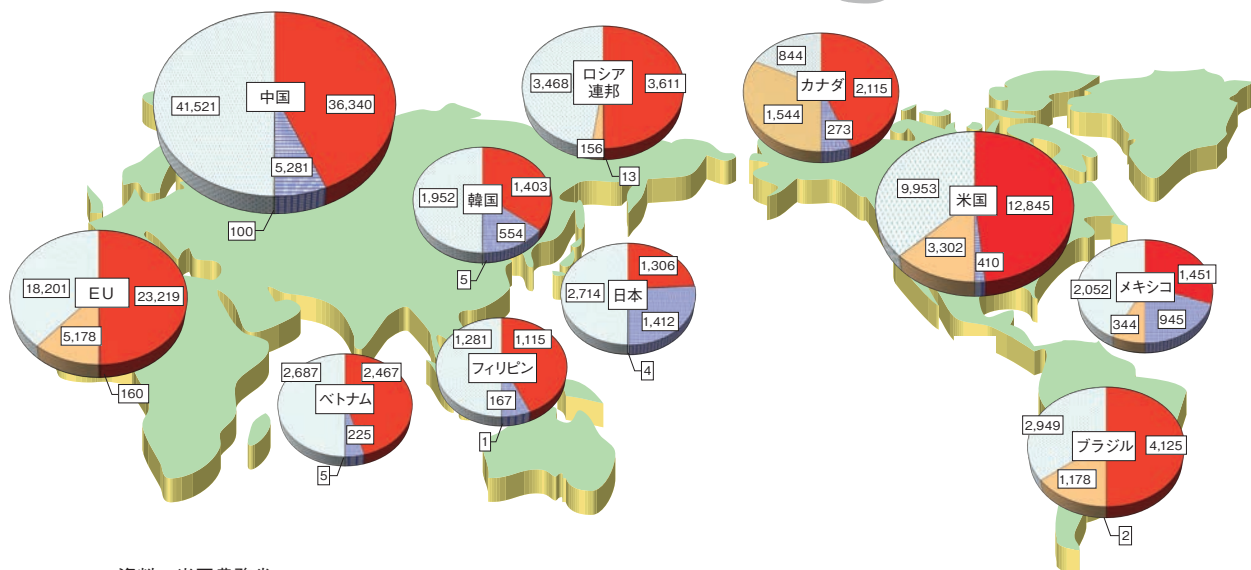
注2：EUには英国を含まない。

2020年の世界の牛肉生産量は、7161万トン（枝肉換算ベース、FAO Food Outlook、2021年11月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、米国（1239万トン）、EU（688万トン）などの先進国のほかに、ブラジル（1010万トン）、中国（672万トン）、インド（376万トン、水牛肉を含む）、アルゼンチン（317万トン）といった新興国である。牛肉消費量は、米国が世界最大の消費国であるが、中国の消費も増加している。一方、ブラジルやインドなど減少に転じたところも存在する。牛肉輸出量は、ブラジル（254万トン）、豪州（147万トン）、米国（134万トン）の順に多い。また、日本への輸出量が多い米国や豪州、カナダ（51万トン）の3カ国で全輸出量の約3割を占める。

豚 肉



消費量(千トン) 生産量(千トン)
輸出量(千トン) 輸入量(千トン)



資料：米国農務省

注1：2020年データを基に作成、数量は枝肉換算ベース。

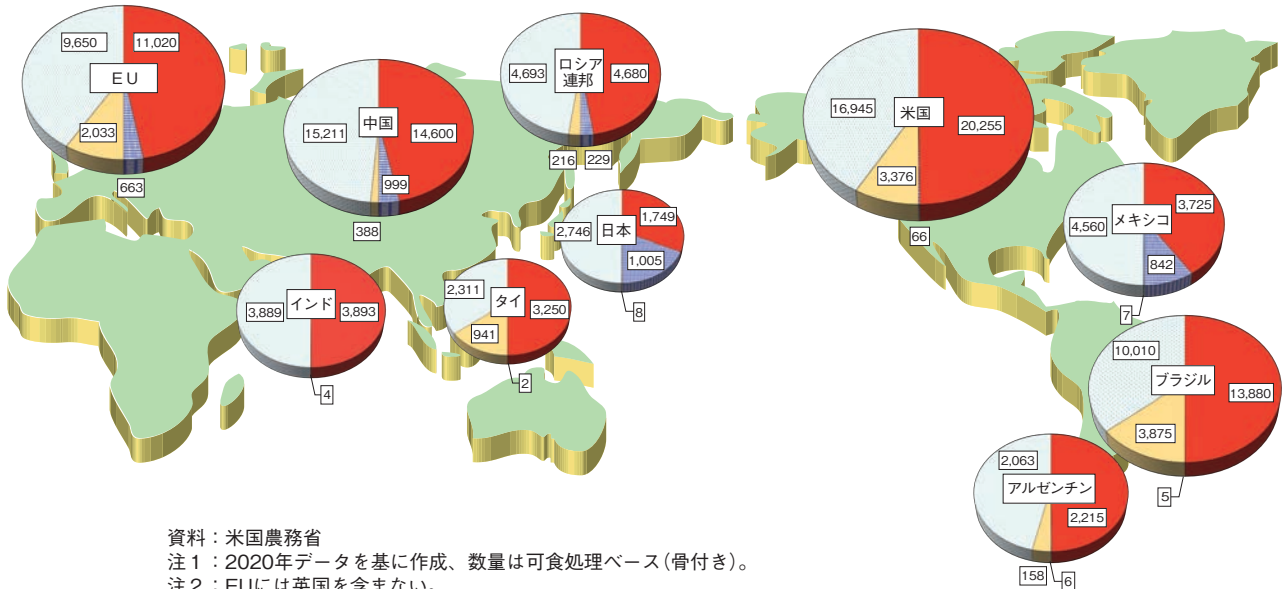
注2：EUには英国を含まない。

2020年の世界の豚肉生産量は、1億972万トン（枝肉換算ベース、FAO Food Outlook、2021年11月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、中国（3634万トン）であり、これにEU（2322万トン）や米国（1285万トン）などが続く。EUや米国は生産量に占める輸出量の割合が高く、中国を中心に輸出量を増加させている。その他の国では、経済成長に伴いブラジル（413万トン）、ロシア（361万トン）、メキシコ（145万トン）の生産量が増加している。中国以外のアジア地域では、ベトナム、フィリピン、韓国などの生産量や消費量が多い。日本は生産量が131万トンであるが、消費量のおよそ半分の141万トンを入力している。

鶏 肉



消費量(千トン) 生産量(千トン)
輸出量(千トン) 輸入量(千トン)



資料：米国農務省

注1：2020年データを基に作成、数量は可食処理ベース(骨付き)。

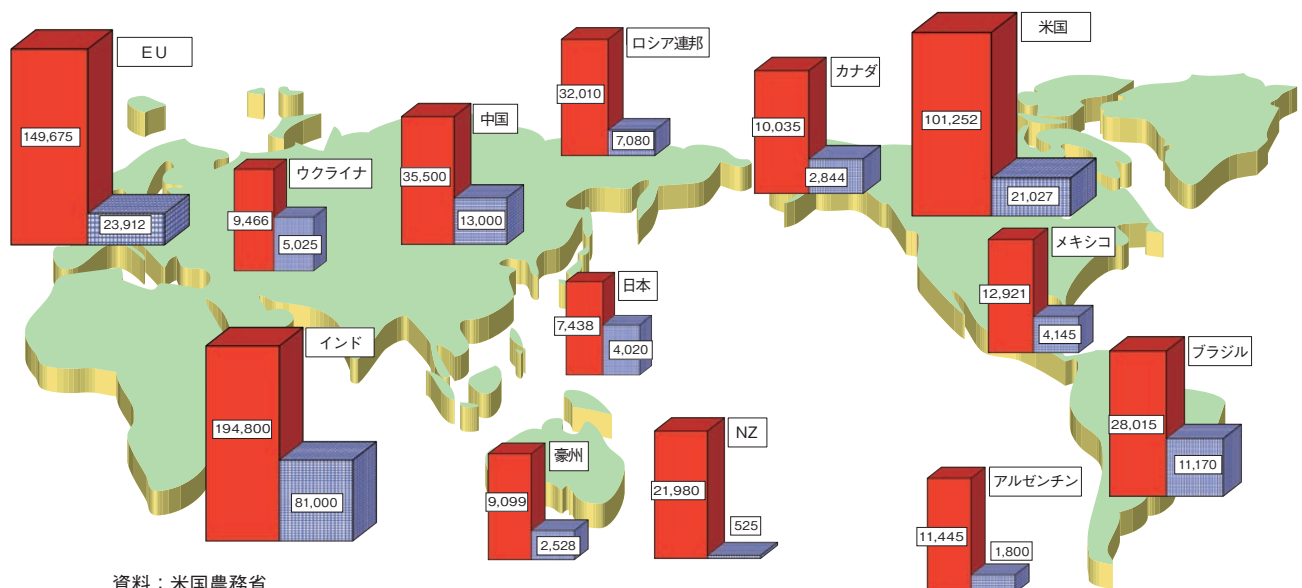
注2：EUには英国を含まない。

2020年の世界の鶏肉生産量は、1億3395万トン(骨付き換算ベース、FAO Food Outlook、2021年11月)と見込まれる。主要生産国(国別データは米国農務省)は、米国(2026万トン)であり、これに中国(1460万トン)、ブラジル(1388万トン)と続く。このほか、EU(1102万トン)、メキシコ(373万トン)、タイ(325万トン)などで増加している。鶏肉消費量は、米国が最大であり、中国(1521万トン)、ブラジル(1001万トン)なども増加している。鶏肉輸出量は、ブラジル(388万トン)、米国(338万トン)、EU(203万トン)、タイ(94万トン)の順に多く、ブラジルと米国で世界の輸出量の約5割を占める。

生 乳



生乳生産量(千トン)
飲用乳消費量(千トン)



資料：米国農務省

注1：2020年データを基に作成、数量は水牛乳を含む。

注2：EUには英国を含まない。

2020年の世界の生乳生産量(水牛乳含む)は、9億1432万トン(FAO Food Outlook、2021年11月)と見込まれる。主要生産国(国別データは米国農務省)は、インド(1億9480万トン)、EU(1億4968万トン)、米国(1億125万トン)などであるが、インドは水牛乳が生乳生産量の約5割を占める。地域別に見ると、最近では、インドや中国などの生乳生産量の増加が著しい。2020年の貿易量(輸出量・生乳換算)は8599万トンと見込まれ、その貿易率は9.4%と穀物や砂糖、牛肉、家きん肉などと比べて低い。主要輸出国(地域)は、EU、ニュージーランド、米国、豪州などである。